

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	腎細胞癌に対するロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術の治療成績に関する多機関共同観察研究
研究責任者	総合病院 聖隷浜松病院 泌尿器科 米田達明 三重大学医学部附属病院腎泌尿器外科 井上貴博
研究実施体制	聖隷浜松病院、三重大学、岐阜大学、富山大学、横浜市立大学、 広島市立広島市民病院、虎の門病院、獨協医科大学埼玉医療センター
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2027年3月31日
対象者	臨床的に腎細胞癌と診断され、ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術（以下RAPN）を受けられた20歳以上の患者さん。
研究の意義・目的	8施設で行われたRAPNの治療成績およびその予後に関するデータを集積することで、RAPNの手術成績、RAPN選択の妥当性、RAPN後の再発様式および予後・再発予測因子の探索といった、RAPNの治療効果を検討することを目的としています。
研究の方法	臨床情報（年齢、性別、既往歴、腫瘍のサイズや位置など）、手術・周術期経過（手術時間、出血量、阻血時間、術後合併症、病理結果など）、予後（再発の有無、再発後の治療など）についての情報を匿名化し、診断、治療、予後、合併症のデータを解析します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 泌尿器科 （氏名）藤崎 明 TEL:053-474-2222(代表) 泌尿器科外来 9:00～17:00 平日